

医療機器の設計・製造に関する アジア最大の展示会・セミナー
6回目の今回、会期を3日間に拡大し、過去最大規模で開催

「MEDTEC Japan 2014」開催結果のご報告

- **過去最高** 出展社数：430社／団体…地方自治体とエレクトロニクス・ICT業界の出展目立つ
- **過去最高** 来場者数：28, 137人 …前回(2日間開催)の2倍超が来場
- 日本発の革新的な医療機器を表彰する、第3回「MEDTEC イノベーション大賞」を決定
- 次回は2015年4月、全11展示会が集う“日本最大のライフサイエンス総合展”に
～「MEDTEC Japan」は医療／福祉／臨床検査分野にわたる6展示会の同時開催へ規模拡大～

UBM Canon Japan 合同会社（東京都千代田区／職務執行者：クリストファー イブ）は、去る2014年4月9日（水）～11日（金）の3日間、「東京ビッグサイト 東3・6ホール」（東京都江東区有明）にて、医療機器の設計・製造に関するアジア最大の展示会「MEDTEC Japan 2014（メドテック ジャパン 2014）」^{※1}を開催しました。以下に、開催結果をご報告します。

※1：後援：一般社団法人日本医療機器産業連合会、日本の技術をいのちのために委員会
協賛：一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ

<出展社数・来場者数^{※2}>

- ・ 出展社数：**過去最高** 430社／団体
- ・ 来場者数：**過去最高** 28, 137名（1日目：8, 485名、2日目：9, 679名、3日目：9, 973名）

※2：【ご参考】 前回（2日間開催）の結果

出展社数：383社／団体、来場者数：13, 210名（1日目：6, 445名、2日目：6, 765名）。

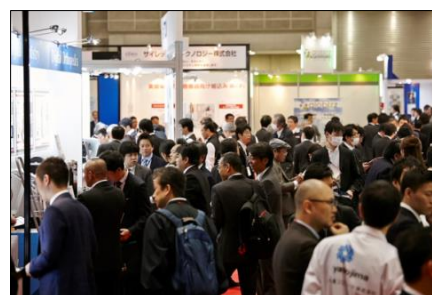
1. 出展社数は430社、来場者数は28, 137名、ともに過去最高に

今回は、出展社数・来場者数とも過去最高となりました。出展スペースも過去最大の4, 053㎡（前回比約125%）。第1回から毎年、開催規模を拡大しています。

出展社数は前回実績を47社上回る、過去最高の430社／団体（前回比 約112%）。今年も成長分野である医療機器業界に異業種から参入を図る企業が多数出展。特に地方自治体とエレクトロニクス・ICT業界の出展が目立ちました。

「MEDTEC Japan」では、医療機器業界への参入に意欲的な中小企業にとって後押しとなるよう、地方自治体単位での地元中小企業の合同出展を積極的に受け入れています。地方自治体の出展は年々増えており、今回は医工連携に積極的な13自治体が出展（前回は10自治体）。地元企業がもつ独自技術・製品の医療機器への応用を提案／アピールできる機会として、当展示会の活用が定着してきていると見ています。

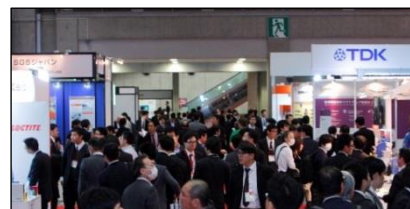
また、これまでエリア展示であった医療用エレクトロニクス・ICT技術分野は近年、出展



社が増加しているため、今回は独立した専門展示会「ElectroMED」として併催。電機や電子部品・機器、通信分野等の企業が多数出展し、家電技術、無線技術、スマートフォンとの連携技術等、他業界で培った各社固有の技術・製品を医療機器に応用・転用する取り組みが展示されました。医療分野のICT化は政府の推進施策であり、医療機関、在宅医療等の医療現場で、すでに様々な取り組みが始まっていることも出展増の背景にあると考えられます。

来場者は前回実績（13,210名）を約15,000名上回る、過去最高の28,137名（前回比約213%）。会期が従来の2日間から3日間に拡大しましたが、1日あたりの平均来場者数も9,379名（前回は約6,600名）と大幅に伸ばしました。

当展示会は、医療機器メーカー（来場者）のニーズに、よりお応えできるよう、開催規模の拡大とともに出展対象分野を広げ、医療機器開発に要する技術・製品の展示を充実させてきました。また、政府は医療機器業界を成長戦略分野に掲げ、政策的な支援も進めているため、医療機器メーカーの製品開発が活発になり、より技術力・製品力のある新たなサプライヤーが求められていると考えられます。



2. 日本発の革新的な医療機器を表彰する、第3回「MEDTEC イノベーション大賞」が決定



国内企業による日本発の革新的な医療機器を表彰する、第3回「MEDTEC イノベーション大賞」の最終審査^{※3}が展示会初日の9日に行われ、栄えある大賞には、株式会社クロスエフェクトの「超軟質心臓シミュレーター」が選ばれました。

※3：ノミネート企業によるプレゼンテーション（約15分）を経て、有識者で組織する審査委員会による最終審査を実施。

■大賞受賞製品：株式会社クロスエフェクト「超軟質心臓シミュレーター」

	【製品について】 患者のCTスキャンデータから作成し、動作までを再現した心臓シミュレーター。
	【審査委員会 審査評】 3次元プリンターの、今後の医療技術の発展に対する寄与の大きさは計り知れないものがある。同社はいち早く、軟性樹脂の成型という高難度の技術を実用化し、手術シミュレーションの分野で大きな実績を示した。

なお、今回の各受賞企業・製品は、以下の通りです。

<第3回「MEDTECイノベーション大賞」受賞企業・製品>

賞	受賞企業	受賞製品
MEDTEC イノベーション大賞	株式会社 クロスエフェクト	超軟質心臓シミュレーター
チャレンジ賞	メディカルネット岡山	脊椎圧迫骨折手術で用いる脊椎アラインメントを最適化するフレーム
	株式会社 ライトニックス	無痛ランセット「ピンニックスライト」
奨励賞	TDK 株式会社	超小型・低消費電力 Bluetooth4.0 対応無線モジュール
	大成化工 株式会社	次世代型プレフィル用シリンジ
	株式会社 日本インフォメーションシステム	外科手術用鋼製器具ガーゼ管理システム

3. 業界参入を目指す企業向けに新設した“超入門編”セミナーは、早々に満席となる盛況

今回のセミナーは全6講座に拡大（前回は全4講座）。医療機器業界への新規参入を目指す企業向けに新設した「超入門！ 医療機器業界参入のためのセミナー」は、実際に業界参入に成功した企業から参入手法や要点等を具体的に学べるとあって、早々に満席となる盛況。



また、業界の市場動向や法規制等の最新情報を学べる、例年好評の「国際セミナー」や、「実践編」として前回から設けた3つの専門セミナー「BioMEDevice（バイオメドデバイス）セミナー」「サプライヤー向けセミナー」「スマートヘルスセミナー」には、ステップアップを図る企業から事業拡大・海外進出等を目指す企業まで、多数の受講者が参加しました。

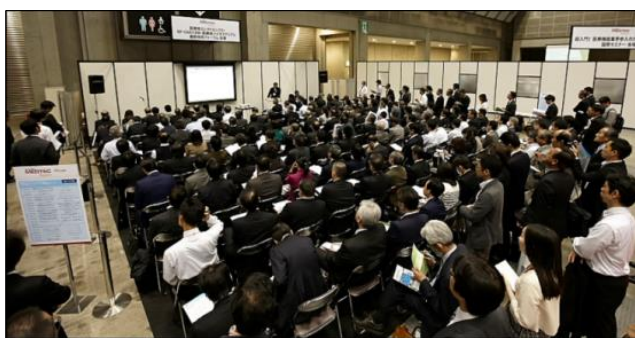
受講者からは「この時期に開催されたおかげで、これから具体的にプロジェクトを進めるうえで役立つ講義だった」「他社事例を学ぶことができたので、それを参考に医療機器業界へのチャレンジをスタートできる」といった声^{※4}が寄せられています。

なお参加者は、全6セミナー（全て事前登録制・有料）で、延べ約550名でした。

※4：セミナー終了後、主催者が会場で受講者と直接、コミュニケーションをとる中で得られた感想。

4. 経済産業省による医療機器産業政策等の講演に注目が集まった「最新技術フォーラム」

医療機器／医療用エレクトロニクス等の分野を対象にしたオープンフォーラム「最新技術フォーラム」（参加無料・自由聴講）では、昨年引き続き経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室による講演が2日間（9・10日）にわたって行われました。同省の医療機器産業政策や、今年度から実施される「医工連携事業化推進事業（旧 課題解決型医療機器等開発事業）」について、具体的な方針・施策等が提示され、立ち見が出るほどの聴講者が集まりました。



このほか、出展社によるプレゼンテーションには23社／団体が参加し、医療機器開発向けの独自技術・製品やビジネスモデル等を、来場者に向けてアピールしました。

*文中の会場スナップは、画像データをご用意できます。下記【報道関係窓口】までお申し付け下さい。

次回開催のご案内

医療/介護・福祉/臨床検査・製薬分野の11展示会が集う“日本最大のライフサイエンスの総合展”

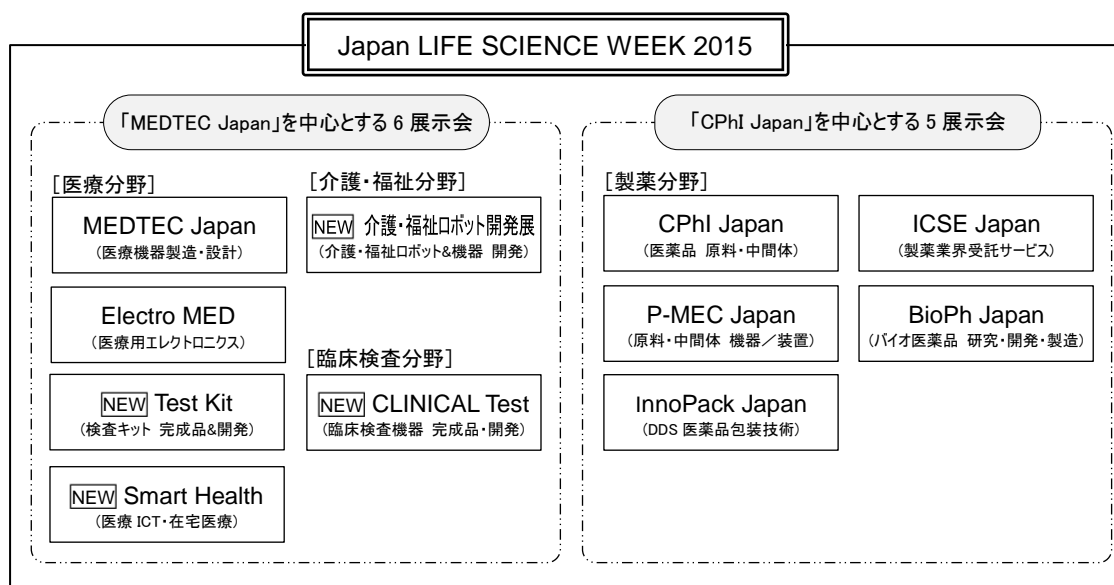
「Japan LIFE SCIENCE WEEK 2015」 ジャパン ライフサイエンスウィーク2015

- ◆「医療」「介護・福祉」「臨床検査」分野：『MEDTEC Japan』を中心とする6展示会を同時開催
- ◆「製薬」分野：『CPhI Japan』を中心とする5展示会を同時開催
- ◆会期：2015年4月22日（水）～24日（金）／於：「東京ビッグサイト」

今回は、「Japan LIFE SCIENCE WEEK 2015（ジャパン ライフサイエンス ウィーク 2015）」と称し、「医療」「介護・福祉」「臨床検査」「製薬」の各分野にわたる、UBMグループの11展示会が集う、“日本最大のライフサイエンスの総合展”として開催。総出展社数は1,000社、総来場者数は50,000名を見込んでいます。会期は2015年4月22日（水）～24日（金）の3日間、会場は「東京ビッグサイト」の予定です。

「Japan LIFE SCIENCE WEEK 2015」の展示会構成は、「医療」「介護・福祉」「臨床検査」分野を展示対象とした『MEDTEC Japan』（医療機器の製造・設計に関するアジア最大の展示会）を中心とする6展示会と、「製薬」分野が展示対象の『CPhI Japan』（医薬品原料・中間体の国際的な専門展示会）を中心とする5展示会となります。

< 「Japan LIFE SCIENCE WEEK 2015」の展示会 構成（予定） >



■ 「MEDTEC Japan」は4つの同時開催展を新設、展示分野・開催規模をさらに拡大

今回の「MEDTEC Japan」は、従来の「医療分野」のほか、日本が迎える超高齢化社会への対策を見据えて「介護・福祉分野」を、また病気の早期発見や予防のために重要視される「臨床検査分野」を展示対象に追加します。新たに4つの同時開催展を設け、「MEDTEC Japan」を中心とする6つの専門展示会の同時開催となります。また、展示ホールを3ホールに増やし（2014年は2ホール）、開催規模をさらに拡大。出展社数は6展示会で延べ550社/団体、来場者数は同35,000名を目指します。

< 「MEDTEC Japan」 を中心とする6展示会（予定） >

[医療分野（4展示会）]

- ・ 医療機器の製造・設計に関するアジア最大の展示会
「MEDTEC Japan」



- ・ 医療用エレクトロニクス展 「Electro MED」



- ・ **NEW** 検査キット 完成品&開発展 「Test Kit」



- ・ **NEW** 医療ICT・在宅医療展 「Smart Health」



[介護・福祉分野]

- ・ **NEW** 介護・福祉ロボット&機器 開発展
「介護・福祉ロボット開発展」



[臨床検査分野]

- ・ **NEW** 臨床検査機器の完成品及び開発
「CLINICAL Test」



*なお、次回の出展申込受付は、4月21日（月）より開始します。

【出展の問い合わせ／資料請求先】 ※記事中の読者問い合わせ窓口もこちらでお願いします。

「MEDTEC Japan 事務局」(UBM Canon Japan 合同会社内)

TEL : 03-4360-5664 / E-mail : medtecjapan@ubm.com

< この件に関するお問い合わせ先 >

【報道関係窓口】 株式会社ユニ・プランニング 担当：臼田
TEL : 03-5282-8651 / FAX : 03-5282-8658
E-mail : usuda@uni-planning.co.jp

【リリース発信元】 UBM Canon Japan 合同会社 担当：滝川
TEL : 03-4360-5669 / FAX : 03-4360-5301
E-mail : aiko.takigawa@ubm.com